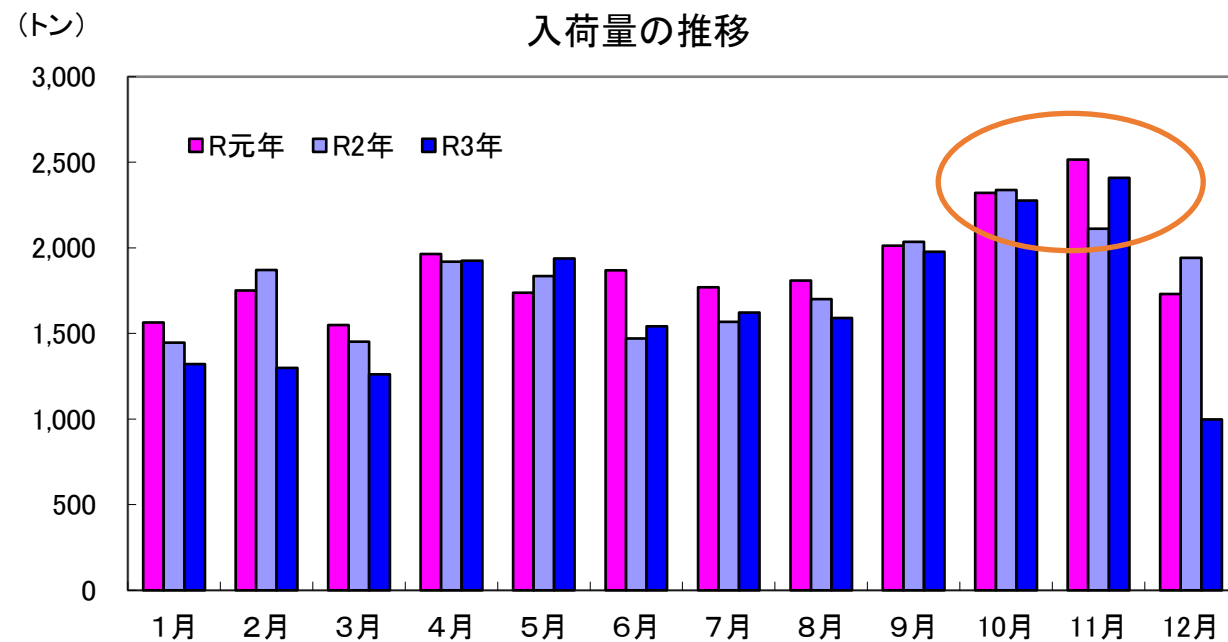


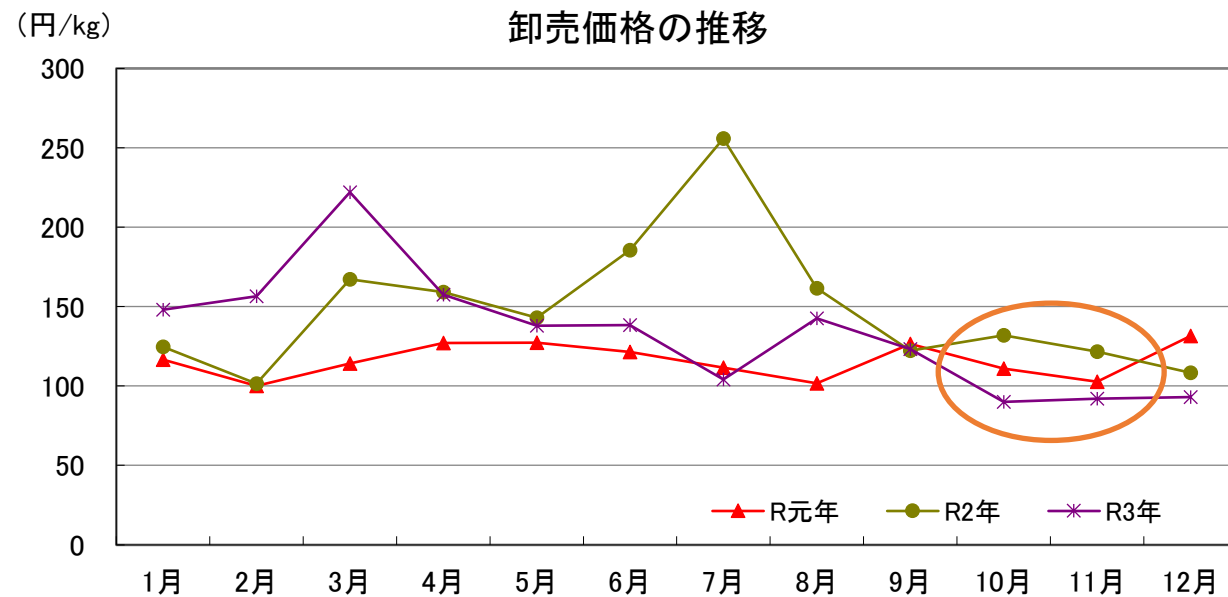
にんじんの動向

〇年により差があるものの、入荷量は10月から11月にかけて多くなり、卸売価格は安値となっている。

入荷量の推移



卸売価格の推移

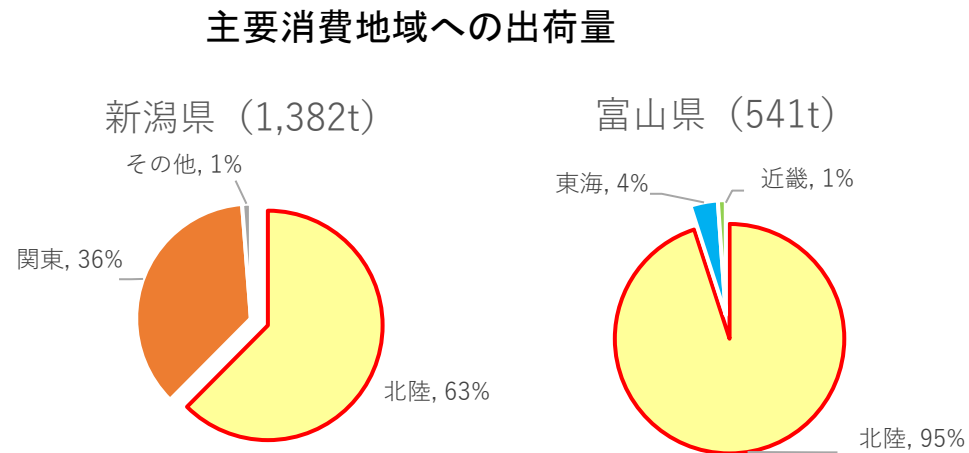
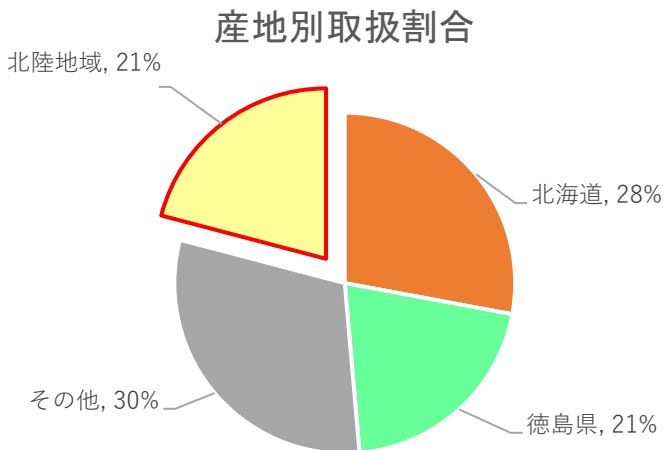
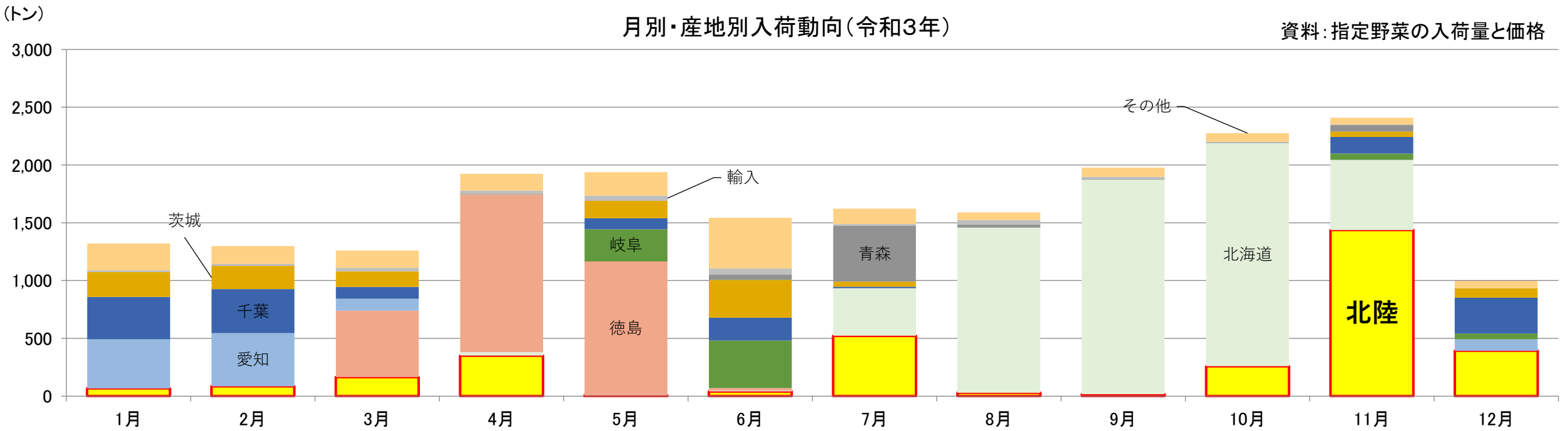


全国市場での取扱数量	北陸域内市場での取扱数量	北陸域内(4県)からの入荷シェア	北陸域外からの入荷シェア
431千トン	9.4千トン	21%	79%

資料: 指定野菜の入荷量と価格(北陸農政局管内17市場を集計し取りまとめたもの。以下同じ。)

○入荷量は、北海道産が3割弱、徳島産が約2割を占める。また、北陸地域からのにんじんの供給比率は21%となっている。

○新潟産は、6割以上を北陸地域、4割を関東地域に出荷。富山産は9割以上を北陸地域に出荷している。



資料: 令和3年青果物卸売市場調査報告